

“ふじのくに”士民協働事業レビュー結果

(交通基盤部)

事業番号	16	事業名	航空保安関係事業費
------	----	-----	-----------

1 基本情報

実施日/班名	9月8日 第1班	時間	14:24~15:21
担当課名	空港経営課	事業費	43,000千円

2 レビューの結果 施策を推進する効果の程度

結果	一定の効果がある	判定区分	県民評価者の内訳	
			大きな効果がある	5
			一定の効果がある	21
			あまり効果がない	7

3 県民評価者の意見

(1)見直し・改善策

目的指標	
対象範囲	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・日本一安全・利用しやすい・サービスの良い空港を目標とすべき。その体制確立に県の主導が必要。(積極的な関与) ・空港施設内の不法侵入対応を検証し、空港管理業務の正確性を確認することが必要。 ・「安全」も競争意識を働かせるべきというのが、今の風潮。コスト意識を導入すべき。 ・LCC会社等を見れば、限界までコスト削減しながら、安全水準を保っています。 ・安心して利用できる安全な空港とするために保安関係の経費が決定していて、やめる事が出来ない県としては、1/2を1/3、1/4の経費となるようにしてほしい。 ・全額負担したら他空港との差別化ができるのではないかと。(航空会社へのベネフィットを多くすることによって就航本数の増加等) ・テロだけでなく、麻薬、輸出入禁止物などが出てこないように、一応金は出しているのに、チェックにも県は口を出しても良いと思う。 ・「安全性」によって他空港と差別化できると良いと思います。 ・安全性について差別化できる検査装置を静岡県主導で開発する事業があっても良い。検査装置(制度(細かくチェック)、速度(待ち時間なし)、確実性(誤検出がない)) ・責任は航空会社にあるとのことだが、実際に何か起こった場合、現実的には100%航空会社の責任というわけにはいかないのではないかと。一方、県民感情からすれば、ただお金だけ出して何の発言権もない、チェック機能も持っていないということは極めて不自然だと感じる。 ・空港の利用促進という事業があるが、利用客が計画どおり増えていった場合、この補助金もそれに準じて歯止めなくどんどん増えていくということに非常に疑念を感じる。

(2)その他の意見

- ・必要な事は担当が責任をもって決定し、実施して下さい。
- ・この内容がレビューの対象となっている事が理解できない。
- ・こちらも暇ではないので、時間を無駄にさせないで欲しい。
- ・建前でなく本気でハイジャック・テロを防ぐ為にはなくてはならないもの。
- ・事業レビューの対象にならないと思う。
- ・安全はお金に換算出来ないが、県としてのマニュアルの整備、見直しを図り、補助効果を上げる。
- ・保安検査料は2分の1が正しいのか。
- ・安全の為に使用される単価は正確にはわかりません。本当に安全のためなら仕方ない。
- ・なぜ補助金を出すのか。
- ・「安全」という看板を人質にとって、反対論を言えないようにするというのは理解できない。補助金をやめる、減額する、もしくは金を補助する以上、県民に代わって何らかのメリット or 権利を主張すべき。
- ・国のルールと同様の対応がなされており、やるべきものだと考える。
- ・論点整理勉強会で議論の余地は無いと質問表に記載しました。そこまでしてやめようと思えない。
- ・税金の投入金額、現在どのくらい？今後どのくらい？
- ・官から言われたら、すぐYESの姿勢...を改めていかななくては...と思いました。
- ・基準で決められており安全第一なので、現状を変えるには難しいと思います。
- ・本音と建前の違いですぐ理解できない部分です。
- ・赤字空港を安全にしてほしいから一定の効果があると思う。そうしないと利用者は不安でしかたがないので、不用と思いますが一定の効果があると思います。
- ・もっと削減にはならないのかとは思いますが、よくわからないけど、テロ対策は必要だと思う。競争に外れてしまうという面から考えると、元々赤字なのでここにコストをかけなくてもよいとも思う。必要だからやると言われると何も言えない。わからなかった。
- ・海外から持ち込まれた感染症（鳥インフルエンザなど）や航空機内で行った（広がった）ものの責任は誰がとるのか。ここから税金として出ていくのかよくわかりませんが、ある意味、感染症もテロに近いのでちゃんと対策をして欲しい。この場合、航空会社ということであるも、責任は県に入ってくるのでその時はどうするのか、ちゃんと考えてほしい。
- ・そもそもこの事業がレビューの対象となった理由が判らない。県側の安全に対する意識の欠如か。
- ・安全確保と名目はありますが、説明では、航空会社がやる事になっている。その補助として、富士山静岡空港（株）は何故補助しなくて県がどうしてするのか、不明確である。（法律にあるが、そのままか。）
- ・準法的な事業であると思うからレビューの対象でないと思う。しかし、費用の面ではチェック体制が見えない。5人分業で対応しているが、妥当な人数かわからない。
- ・費用対効果がどの程度なのか分からない。費用を増やしたらもっと安全になるのか。
- ・なぜ県が保安関係費を支払うのか。国が求める県へのしぼりはあるのか。1/2の経費負担は基準があるのか。人件費にスライドするのか。時限的な位置づけかどうか、どうなったらどうするのか。効果の判定の基準は？決算と予算の差の理由は？
- ・通常的安全性を確保するための作るとして必要不可欠なものである。安全性の担保も国に基づくもので特に問題ないが、実際にテロ行為が起きた時、どうなるのかは良くわからなかった。
- ・テロの脅威を排除するためにも、必要な事業だと思います。県が介入することで、航空会社の警備が監視されると思います。
- ・補助金がふさわしい額かどうかよくわからない。もしくは聞いてみないとわからないという感想。
- ・事業レビューの議題に値しないテーマだと思います。
- ・これは事業レビューの対象として、そもそも適切なのか疑問を感じます。改善の余地がほとんど無く、業務を無くす訳にもいかない。
- ・安全は重要ですが、税金を使わなくて安全の確保は出来ないのでしょうか。責任のなすり合いをしているように見えます。安全だといって税金をいくら使っても静岡空港の利用者は増えるとは思えない。
- ・13～16番までの事業に関してすべてに今一度見直してください。